



アグリテックを推進していきます

----- 農業政策課 ☎924-2201 園芸畜産振興課 ☎924-3761

アグリテックを推進するため、農業政策課内に今年の4月から「農業経営・アグリテック推進係」が誕生します。

アグリテックとは

アグリテックとは、農業(アグリカルチャー)にICT(情報通信技術)やIoT(モノのインターネット)、ロボット技術等の先端技術(テクノロジー)を組み合わせ、超省力化や高品質化生産等を目指す農業における新たな取り組みで、スマート農業とも呼ばれています。

【アグリテック(スマート農業)の5つの方向性】※農林水産省資料より

①超省力・大規模生産を実現

トラクタ等の農業機械のGPS自動走行の実現



④誰もが取り組みやすい農業を実現

栽培ノウハウのデータ化等により、経験の少ない労働力でも対処可能な環境を実現



②作物の能力を最大限に発揮

センシング技術や過去のデータを活用したきめ細やかな栽培(精密農業)



⑤消費者・実需者に安心と信頼を提供

生産情報のクラウドシステムによる提供等により、産地と消費者・実需者を直結



③きつい作業、危険な作業から解放

収穫物の積み下ろし等重労働をアシストスーツにより軽労化、畦畔等の除草作業を自動化



本市のアグリテックの取り組み

①アグリテック活用高品質化実証事業

農作業の省力化、高品質化の有効性を検証します。

- ・果樹の葉色と生育の相関検証
- ・水稻の葉色と食味の相関検証
- ・生産者との情報共有ネットワーク構築実証



▲ドローン

②ICT活用農産物等高品質化モデル事業

気象センサーによるデータの蓄積や解析内容を圃場管理に活用します。



▲ICT活用(気象センサー)による管理

こおりやまの米

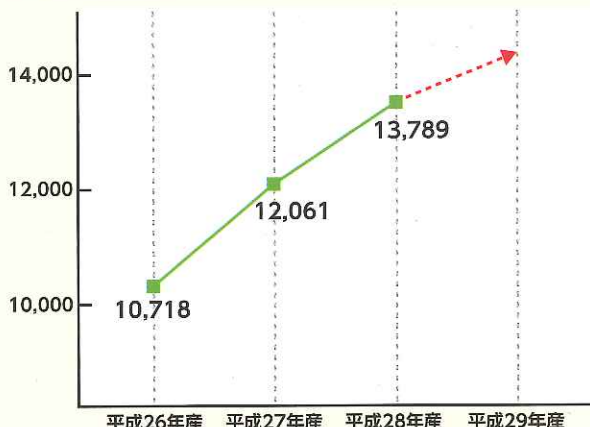
🍀 米価安定のため需要に応じた米生産をお願いします。 農業政策課 ☎924-2201

平成30年産から、国による生産数量目標の配分が廃止となりましたが、これは生産調整が不要になったという事ではありません。ご存知のとおり人口減少や少子高齢化に伴い年間の米の消費量は毎年8万トン減少しており、こうした状況の中で無制限に生産をしてしまうと米価が急落するのは明白です。

そのため、平成30年産以降についても「福島県水田農業産地づくり対策等推進会議」からの提示を受け、郡山市においては「郡山市農業再生協議会」が、3月上旬から農業者の皆様へ生産数量(面積)の目安を提示いたしましたので、今後も需要に応じた米の生産にご協力をよろしくお願いします。

また、「経営所得安定対策制度」の交付金を申請する農業者の方は、必ず「営農計画書」及び「申請書等」を定められた期限内に提出し、加入手続きをしてください。

■福島県全体の米価動向 単位: 円/60kg(税込)



(注) 農林水産省公表資料にもとづき県協議会が試算

平成26年産と平成29年産の米価を比較すると、60kgあたり3,000円以上上昇しています。これは需要に応じて主食用米の削減に取り組んだ結果です。

「平成30年度 経営所得安定対策等の概要」

●米・畑作物の収入減少影響緩和対策(ナラシ対策)

- (1) 交付対象者: 認定農業者、集落営農、認定新規就農者
- (2) 交付内容: 米・麦・大豆の販売収入が標準的収入を下回った場合に、その差額の9割が国からの交付金と農業者の積立金で補てんされます。

●水田活用の直接支払交付金

- (1) 交付対象者: 水田で出荷・販売を目的に対象作物を生産(耕作)する販売農家・集落営農
- (2) 支援内容
 - ① 戦略作物助成: 戦略作物の生産に対して支払われます。
 - ② 産地交付金: 戦略作物の生産性向上等の取り組み、地域振興作物の生産に対して支払われます。

※上記作物については、農業政策課へお問い合わせください。

●畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策)

- (1) 交付対象者: 認定農業者、集落営農、認定新規就農者
- (2) 支援内容
 - ① 数量払: 麦、大豆、そばの当年産の出荷・販売数量に対して支払われます。
(※未検査規格外品は交付対象外となります。)
 - ② 面積払: ①の作物の当年産生産面積に基づき数量払の内金として交付されます。
(営農継続支払)



クマの出没にご注意ください!

春はクマが冬眠から目覚め、食べ物を求めて活発に行動します。遭遇する危険性が高まりますので、山に入る際は注意しましょう。

園芸畜産振興課 ☎924-3761

が変わります!



「仮称」プレミアムあさか舞の名称が「ASAKAMAI 887」に決定!

園芸畜産振興課
☎924-3761

郡山市米消費拡大推進協議会では、「どこよりも安全で美味しい最高級品の米とその生産者の誇りを届ける」をテーマに掲げ、郡山産米「あさか舞」の最高級ブランド「(仮称)プレミアムあさか舞」の立ち上げに取り組んできましたが、このたび、名称を

ASAKAMAI 887 (アサカマイ ハチハチナナ)

に決定しました。

今年、21人の農家の皆さんにご協力いただき、秋の販売開始に向け取り組みを進めます。



▲JA、県、市等のメンバーからなる検討会を定期的に開催しています。



「ASAKAMAI 887」名称の由来

米作りには、八十八(88)の手間がかかると言われています。さらに、7つの厳格な基準をクリアした国内トップレベルのお米のみが、この最高級米となります。

名称は、この「88」と「7」という数字を組み合わせたものとししました。



7つの厳格な基準

ASAKAMAI 887は、次の7つの厳格な基準をクリアした「あさか舞」コシヒカリです。

品質基準

1. 特別栽培米
2. タンパク質含有量 6.1%以下
3. 食味値 88点以上
4. ふるい目 2.0mm
5. 整粒歩合 80%以上

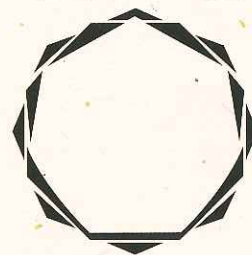
生産者基準

6. 農業生産工程管理(GAP)に取り組む者
7. エコファーマー認定者



エンブレム・ロゴタイプ

「887」になぞらえて、8角形2つと7角形1つを組み合わせて制作しました。



ASAKAMAI 887



平成30年産米も塩化カリの施用をお願いします。 園芸畜産振興課 ☎924-3761

水稻が放射性セシウムを吸収するのを抑制するためには、十分なカリ成分が土壌中に存在することが必要です。水田10a当たり20kgの塩化カリを全水稻農家へ無償で配布していますので、平成30年産米の安全を確保するため、配布された肥料は基肥として必ず施用しましょう。



郡山市産の野生きのこ・山菜類は出荷販売ができません。

国から出荷制限等の指示がされている品目

・野生きのこ ・野生のたらのめ ・野生のうい ・こしあぶら
・たけのこ ・こごみ ・ぜんまい 林業振興課 ☎924-2231

「GAP」に取り組みましょう！

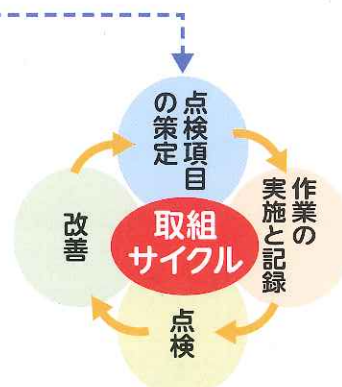
園芸畜産振興課 ☎924-3761

今注目されている「GAP」(ギャップ)。耳にされる機会も増えたのではないかと思います。GAPとは一体何なのでしょう？

「GAP」とは、農業において、**食品安全、環境保全、労働安全**等の持続的な改善活動のことを言います。

これらの取り組み内容を第三者から認定を受ける「FGAP」(エフギャップ)「JGAP」(ジェイギャップ)「GLOBALG.A.P.」(グローバルギャップ)等は、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの出荷要件となっています。

本年2月に、郡山市はWHO(世界保健機関)が推奨するけがや事故の予防活動の「セーフコミュニティ国際認証」を県内で初めて取得したところですが、GAPの基本事項の一つである労働安全の改善も、このセーフコミュニティ活動の一環です。



(出典:FGAPパンフレットより)

他に先んじてGAP認証を取得することは、経営上大きな利点になると考えられます。

GAP認証の取得に対しての各種支援事業がありますので、取り組みを希望される方はお問い合わせください。

NEW				
FGAP		JGAP		GLOBALG.A.P. ASIAGAP
食品安全	農薬適正利用、衛生管理等	残留農薬検査の実施等	商品回収テスト、仕入先評価等	
環境保全	肥料適正利用、廃棄物処理等	遺伝子組み換え作物適正管理等	水の管理、資源の有効活用等	
労働安全	事故防止、保護具、農業保管等	事故時対応明確化、差別禁止等	労働条件の配慮等	
工程全般	法令遵守、記録の作成・保存等	責任者の配置、教育訓練等	手順の明確化・文書化等	
放射性物質対策	セシウムの確認、交差汚染の防止等	生態系や人権の視点等	国際取引に関係する視点等	

(出典:FGAPパンフレットより)



農作業中の事故にご注意ください！

昨年の春の農繁期には、県内において9件の農作業事故が報告されました。春の農繁期を迎える前に作業を見直し、死亡事故ゼロを目指しましょう！
園芸畜産振興課 ☎924-3761

地域の取り組みを支援します。

～地域に出向き説明をしますので、お気軽にご相談ください～

地域でこれからの農業について話し合い、 「人・農地プラン」を作成しましょう。

農業政策課 ☎924-2201

地域内には規模拡大を行いたいと思う方がいる一方、農業をリタイヤしたい、経営規模を縮小したいと思う方がいます。

解決に向けて

地域で話し合いを持ち、規模を拡大したい人と、縮小したい人のマッチングについて将来計画を考えるなど、課題解決に向けて話し合いましょう。



支援制度

話し合いにより決まった担い手への集積計画や農地貸借計画等の実施にあたり「人・農地プラン」制度の認定を受け、各種メリットを得ることができる場合があります。また、策定済みの計画を見直すことで、新たなメリットを受けることもできます。

農地の貸借手続を行う

公的機関（農地中間管理機構）があります。

農地中間管理機構では、農業をリタイヤしたい方や経営規模を縮小したい方の農地を借り入れ、担い手へ貸し付けます。公的機関なので安心なこと、手続きが簡単なことが大きな特徴です。農地を貸したい方や規模拡大を目指して農地を借りたい方はご相談ください。



地域の環境保全を支援します。

農地課 ☎924-3921

農地法面の草刈り、水路の泥上げ、施設（水路・農道等）の軽微な補修や環境保全のための共同活動（植栽等）を支援する「多面的機能支払制度」があります。

地域で組織を設立し事業計画を作成していただき、その計画に基づいて地域の環境保全活動に参加される方への日当などに対し補助金が交付されます。



農地の基盤整備について

農地課 ☎924-3921

基盤整備により、ほ場の大区画化や農業用排水路、農道等が整備され、効率的で生産性の高いほ場となります。そのため担い手への集積（貸借、売買等）も行いやすくなります。

実施にあたっては補助制度がありますので、採択条件について（地権者の同意、担い手への集積、地元の費用負担割合など）お問い合わせください。

イメージ



（出典：農林水産省ホームページより）

研修会・講習会のお知らせです。

見学会・栽培指導講習会

園芸振興センター ☎957-2880

下記の日程で見学会・栽培指導講習会を行います。

- 会場** 園芸振興センター
開催時間 すべて午前10時から正午までを予定しています。
申し込み 4月18日(水)までに、電話でお申し込みください。

内 容		日 程
栽培状況見学会 (相談受付も行います。)		6/28(木)、9/5(水)
栽培実習・講習	トマトを中心とした野菜 (全6回) 	4/24(火)、5/22(火) 6/19(火)、7/17(火) 8/21(火)、9/20(木)
	トルコギキョウを 中心とした花き  (全5回)	4/25(水)、5/16(水) 6/20(水)、7/18(水) 8/1(水)



▲野菜栽培指導講習会



▲花き栽培指導講習会

農産加工研修

園芸畜産振興課 ☎924-3761

郡山市農産加工センターの機械を使った農産加工研修の参加者を募集します。

- 会場** 郡山市農産加工センター(郡山市逢瀬町多田野字南原17)
対象 全4回(8・9・11・1月予定)の講座を受講し、指導者認定会に参加できる方
定員 15名(定員になり次第締め切り)
受講料 4,000円(全4回の材料費)
申し込み 5月1日(火)から5月18日(金)までに、住所、氏名、電話番号を記入し下記まで郵送かFAXにてお申し込みください。

●園芸畜産振興課:〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7 FAX938-3150

新規就農者向け研修・講習会

園芸振興センター ☎957-2880

園芸で郡山市内に就農を希望する18歳以上60歳以下の方を対象に、1年を通じて就農に必要な技術を学ぶ「こおりやま園芸カレッジ」を実施しています。(平成30年度の募集は終了しています。)

- 研修内容** 野菜、花き栽培技術研修(播種から出荷まで)、農業機械に関する講習、経営に関する講習等
受講料 無料

*平成29年度は2名の方が研修を実施しています。

*10月中旬、体験入校を実施します。



アスパラガス調整・出荷

ぜひご参加ください!~今年も“楽しく”学べる機会がいっぱい!~

※募集は随時、広報こおりやま、またはウェブサイト等で行いますので、確認してください。

スーパーアグリサイエンススクール

農業政策課 ☎924-2201

東京農工大学の大学院生が、小学生を対象に理科が好きになるきっかけとして、農業や科学に関する実験を楽しく行います。(夏休み開催予定)

◆平成29年度は、イカの解剖実験やブルーベリージャム作りなどを実施しました。

【参加後の小学生からの感想】

- ・「自由研究は好きではなかったけど、今はすぐやりたい」
- ・「来て良かった。来年もやって欲しい。」



福島大学による公開授業

農業政策課 ☎924-2201

本市では、「ふくしま未来 食・農教育プログラム」を実践している福島大学経済経営学類と連携協定を結び、震災からの復興と風評の払拭を目指す公開授業を開催しております。どなたでも無料で参加できます。

◆今年度、6月から5回に渡りそれぞれの分野の講師が、震災からの復興に向けた取り組みなどについて講演をする予定です。

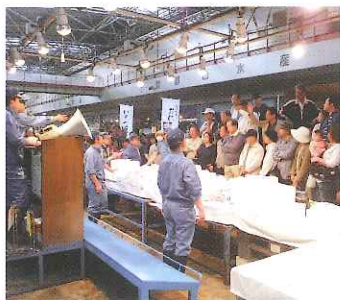


市場に来て見ませんか?

市場管理事務所 ☎961-1140

●市場の朝市

郡山市総合地方卸売市場では、市場の活性化と農産物等の消費拡大を図るため、毎月第4日曜日(12月は第3日曜日)に「市場の朝市」を開催しています。毎回約5千人の方が市内外から訪れ、新鮮な野菜や果物、魚介類、水産加工品、生花等を買求める人々で賑わっています。ぜひ、ご来場ください。



●料理教室(毎年12~3月頃開催)

市場について理解していただくため、市場で流通している魚介類や野菜等を材料に、毎回違うテーマで料理教室を開催します。

●夏休み親子市場たんけん隊(7月開催予定)

小学生とその保護者を対象に、セリの見学やマグロの解体作業など、活気ある早朝の市場を体験していただきます。

●市場食堂

市場で仕入れた新鮮な食材を利用したメニューを取り揃えています。どなたでもご利用できます。

堆肥を有効に
活用し土作りを
行いましょう!

本市では良質な堆肥を提供するため、畜産農家と連携した「郡山市堆肥マップ」を作成しています。良質な堆肥は、作物に養分を供給するだけでなく、地力の向上にも効果がありますので、ぜひご活用ください。

園芸畜産振興課 ☎924-3761

郡山石筵ふれあい牧場
では預託放牧を募集
しています!

飼養している乳用牛、肉用牛を通年で預託する支援を行っています。

郡山石筵ふれあい牧場 ☎984-1000

平成29年度郡山農業振興アドバイザー活動報告 農業政策課 ☎924-2201

現在、本市が委嘱している農業振興アドバイザーをご紹介します。アドバイザーへの要望等がありましたらご連絡ください。



元JA全中総務部長
いまがわ なおと
今川 直人氏

専門 農産物 販売対策

《平成29年度活動実績》
■ふくしま逢瀬ワイナリー
視察・助言
(5月25日)



東京大学大学院
農学生命科学研究科教授
ねもと けいすけ
根本 圭介氏

専門 水稻生産

《平成29年度活動実績》
■インディカ系多収量米
の品種適性試験指導
(5～3月)



(株)農林中金総合研究所
理事長
みながわ よしつぐ
皆川 芳嗣氏

専門 農林業政策

《平成29年度活動実績》
■森林・林業に関する市民
向け講演会
(11月30日)



帯広畜産大学名誉教授
みつもと たかつぐ
光本 孝次氏

専門 畜産学

《平成29年度活動実績》
■JA関係者との意見交換
■石筴ふれあい牧場
視察・助言

ふくしま逢瀬ワイナリー情報 ～ワインショップ～

冬季期間につき縮小営業していましたが、**4月から毎週火曜～日曜日営業します。**

ふくしま逢瀬ワイナリーの「ワインショップ」では、ワインやシードル、リキュール(桃・梨)の他にワインと相性の良い食材やコースター等の小物類も販売しております。また、1杯500円でシードルの試飲も出来ます。

- 場 所：郡山市逢瀬町多田野字郷土郷土2番地
(県道郡山・湖南線沿い 三森峠入り口付近)
- 営業日時：毎週火曜～日曜日 10:00～16:00
*冬季(1～3月)は毎週水・土曜日のみ営業
- 問合せ先：フリーダイヤル 0120-320-307
メールアドレス info@ousewinery.jp



※4月9日より農林部が本庁舎1階へ移動となります。

- ◆農業政策課 ☎924-2201 ◆農地課 ☎924-3921
- ◆園芸畜産振興課 ☎924-3761 ◆林業振興課 ☎924-2231
- ◆総合地方卸売市場管理事務所 大槻町向原 ☎961-1140
- ◆園芸振興センター 逢瀬町多田野 ☎957-2880

郡山市農政だより 第34号 (平成30年3月)

編集発行：郡山市農林部農業政策課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7
TEL.024-924-2201 FAX.024-938-3150

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



植物油インキを使用して
印刷しています。

紙へリサイクル可

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。